

第 423 回 [剰余の周期性]

整式 $f(x) = x^m$ を整式 $P_n(x)$ で割った商を $Q_n(x)$, 余りを $R_n(x)$ とする。

ただし, m, n は自然数, $Q_n(x) = 0$ も可とする。

問 1 $m = 2023$ のとき, 次の間に答えよ。

- (1) $P_1(x) = x^2 + 1$ のとき, $R_1(x)$ を求めよ。
- (2) $P_2(x) = x^2 + x + 1$ のとき, $R_2(x)$ を求めよ。
- (3) $P_3(x) = x^3 + x^2 + x + 1$ のとき, $R_3(x)$ を求めよ。
- (4) $P_4(x) = x^4 + x^2 + 1$ のとき, $R_4(x)$ を求めよ。
- (5) $P_5(x) = x^4 + 1$ のとき, $R_5(x)$ を求めよ。
- (6) $P_6(x) = x^4 + x^3 + x^2 + x + 1$ のとき, $R_6(x)$ を求めよ。

問 2 $R_n(x)$ の周期性を発見して, 次の間に答えよ。

- (1) $R_1(x) = R_3(x)$ となる m の値を求めよ。
- (2) $R_2(x) = R_4(x)$ となる m の値を求めよ。
- (3) $R_3(x) = R_5(x)$ となる m の値を求めよ。
- (4) $R_4(x) = R_6(x)$ となる m の値を求めよ。
- (5) $R_1(x) = R_2(x) = R_3(x) = R_4(x)$ となる m の値を求めよ。
- (6) $R_1(x) = R_2(x) = R_3(x) = R_4(x) = R_5(x)$ となる m の値を求めよ。
- (7) $R_1(x) = R_2(x) = R_3(x) = R_4(x) = R_5(x) = R_6(x)$ となる m の値を求めよ。

解答

問 1 除法の原理により, $x^m = P_n(x)Q_n(x) + R_n(x)$ である。

(1) 恒等式 $x^m = Q_1(x)(x^2 + 1) + R_1(x)$ について, $m = 1, 2, \dots$ を代入すると,

$$\begin{aligned}
 x &= 0 \cdot (x^2 + 1) + x, & x^2 &= 1 \cdot (x^2 + 1) - 1, & x^3 &= x(x^2 + 1) - x, & x^4 &= (x^2 - 1)(x^2 + 1) + 1, & x^5 &= (x^3 - x)(x^2 + 1) + x, \\
 x^6 &= (x^4 - x^2 + 1)(x^2 + 1) - 1, & x^7 &= (x^5 - x^3 + x)(x^2 + 1) - x, & x^8 &= (x^6 - x^4 + x^2 - 1)(x^2 + 1) + 1, \\
 x^9 &= (x^7 - x^5 + x^3 - x)(x^2 + 1) + x, \dots \text{より,}
 \end{aligned}$$

$$k \text{ を自然数として, } R_1(x) = \begin{cases} x & (m = 4k - 3 = 4(k - 1) + 1 \text{ のとき}) \\ -1 & (m = 4k - 2 \text{ のとき}) \\ -x & (m = 4k - 1 \text{ のとき}) \\ 1 & (m = 4k \text{ のとき}) \end{cases} \quad (\text{剰余の周期性})$$

よって, $m = 2023 = 4 \cdot 506 - 1$ のとき, $R_1(x) = -x$ ㊦

$$(2) \text{ 同様に計算して (計算は省略), } R_2(x) = \begin{cases} x & (m = 3k - 2 = 3(k - 1) + 1 \text{ のとき}) \\ -x - 1 & (m = 3k - 1 \text{ のとき}) \\ 1 & (m = 3k \text{ のとき}) \end{cases}$$

より, $m = 2023 = 3 \cdot 675 - 2$ のとき, $R_2(x) = x$ ㊦

$$(3) R_3(x) = \begin{cases} x & (m=4k-3=4(k-1)+1 \text{ のとき}) \\ x^2 & (m=4k-2 \text{ のとき}) \\ -x^2-x-1 & (m=4k-1 \text{ のとき}) \\ 1 & (m=4k \text{ のとき}) \end{cases}$$

より, $m=2023=4 \cdot 506-1$ のとき, $R_3(x) = -x^2-x-1$ ㊦

$$(4) R_4(x) = \begin{cases} x & (m=6k-5=6(k-1)+1 \text{ のとき}) \\ x^2 & (m=6k-4=6(k-1)+2 \text{ のとき}) \\ x^3 & (m=6k-3=6(k-1)+3 \text{ のとき}) \\ -x^2-1 & (m=6k-2 \text{ のとき}) \\ -x^3-x & (m=6k-1 \text{ のとき}) \\ 1 & (m=6k \text{ のとき}) \end{cases}$$

より, $m=2023=6 \cdot 338-5$ のとき, $R_4(x) = x$ ㊦

$$(5) R_5(x) = \begin{cases} x & (m=8k-7=8(k-1)+1 \text{ のとき}) \\ x^2 & (m=8k-6 \text{ のとき}) \\ x^3 & (m=8k-5 \text{ のとき}) \\ -1 & (m=8k-4 \text{ のとき}) \\ -x & (m=8k-3 \text{ のとき}) \\ -x^2 & (m=8k-2 \text{ のとき}) \\ -x^3 & (m=8k-1 \text{ のとき}) \\ 1 & (m=8k \text{ のとき}) \end{cases}$$

より, $m=2023=8 \cdot 253-1$ のとき, $R_5(x) = -x^3$ ㊦

$$(6) R_6(x) = \begin{cases} x & (m=5k-4=5(k-1)+1 \text{ のとき}) \\ x^2 & (m=5k-3=5(k-1)+2 \text{ のとき}) \\ x^3 & (m=5k-2=5(k-1)+3 \text{ のとき}) \\ -x^3-x^2-x-1 & (m=5k-1 \text{ のとき}) \\ 1 & (m=5k \text{ のとき}) \end{cases}$$

より, $m=2023=5 \cdot 405-2$ のとき, $R_6(x) = x^3$ ㊦

問2

(1) 問1より, $R_1(x)=R_3(x)=x$ となるのは, $m=4k-3$

$$R_1(x)=R_3(x)=1 \text{ となるのは, } m=4k$$

よって, $R_1(x)=R_3(x)$ となる m の値は, k を自然数として, $m=4k-3, 4k$ のとき ㊦

(2) 問1より, $R_2(x)=R_4(x)=x$ となるのは, $m=6k-5=3(2k-1)-2$

$$R_2(x)=R_4(x)=1 \text{ となるのは, } m=6k=3 \cdot 2k$$

よって, $R_2(x)=R_4(x)$ となるのは, k を自然数として, $m=6k-5, 6k$ のとき ㊦

(3) 問1より, $R_3(x)=R_5(x)=x$ となるのは, $m=8k-7=4(2k-1)-3$

$$R_3(x)=R_5(x)=x^2 \text{ となるのは, } m=8k-6=4(2k-1)-2$$

$$R_3(x)=R_5(x)=1 \text{ となるのは, } m=8k=4 \cdot 2k$$

よって, $R_3(x)=R_5(x)$ となるのは, k を自然数として, $m=8k-7, 8k-6, 8k$ のとき ㊦

(4) 問1より, $R_4(x)=R_6(x)=x$ となるのは, $m=6 \cdot 5(k-1)+1=30k-29$

$$R_4(x)=R_6(x)=x^2 \text{ となるのは, } m=6 \cdot 5(k-1)+2=30k-28$$

$$R_4(x)=R_6(x)=x^3 \text{ となるのは, } m=6 \cdot 5(k-1)+3=30k-27$$

$$R_4(x)=R_6(x)=1 \text{ となるのは, } m=6 \cdot 5k=30k$$

よって、 $R_4(x)=R_6(x)$ となるのは、 k を自然数として、 $m=30k-29$ 、 $30k-28$ 、 $30k-27$ 、 $30k$ のとき ㊦

(5) (1)、(2)より、 $R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)=x$ となるのは、 $m=4\cdot 3(k-1)+1=12k-11$

$$R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)=1 \text{ となるのは、 } m=4\cdot 3k=12k$$

よって、 $R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)$ となるのは、 k を自然数として、 $m=12k-11$ 、 $12k$ のとき ㊦

(6) 問1より、 $R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)=R_5(x)=x$ となるのは、

k の係数が、4、3、4、6、8で、それらの最小公倍数は24であるから、 $m=24(k-1)+1$

$R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)=R_5(x)=1$ となるのは、同様に、 $m=24k$

よって、 $R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)=R_5(x)$ となるのは、 k を自然数として、 $m=12k-11$ 、 $12k$ のとき ㊦

(7) 問1より、 $R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)=R_5(x)=R_6(x)=x$ となるのは、

k の係数が、4、3、4、6、8、5で、それらの最小公倍数は120であるから、 $m=120(k-1)+1$

$R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)=R_5(x)=R_6(x)=1$ となるのは、同様に、 $m=120k$

よって、 $R_1(x)=R_2(x)=R_3(x)=R_4(x)=R_5(x)=R_6(x)$ となるのは、

k を自然数として、 $m=120k-119$ 、 $120k$ のとき ㊦

(2023/2/4 ジョーカー)